



SANSHIN GROUP
Monthly Report on the ESG
Aug. 2023

INDEX

1. TOP MESSAGE
2. グループ社員による今月のつぶやき
3. ESG Report (品質)
4. ESG Report (環境)
5. ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)
6. サンシングループの経営理念とCSR
7. 経営戦略体系と管理会計のかかわり
8. サンシングループの社会的責任
9. サンシングループの企業行動基準
10. サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ
11. 未来形から問題を解決するソウレンホウ

TOP MESSAGE

新潟と言えば、信濃川が県央を流れ、有名な花火大会が行われるなど、人々の生活に密着している。

雪解け水が、各河川や地下水として新潟の農作物を潤しているだけでなく、世界でも人気の高い錦鯉の養殖、工業団地へ良質な工業用水共有するなど、豊富な水資源を誇っており、水不足というキーワードとは縁が遠い地域と思われてきた。

しかし、今年の夏は関東ともに水不足が深刻化している。29年ぶりに貯水率が0%になったダムなど、一時、10カ所近くのダムで10%未満の貯水率になった。新潟県は支援策を発表、各農家は水確保など対応されているとは言え、収穫量や価格に影響は免れない状況である。このような水不足は、気候変動により“水を効率よく使えていないこと”が要因になっているという。例えば、新潟の雪は、初夏まで山に残雪として残り徐々に溶けていくことで夏の新潟を潤してきたが、温暖化の影響で春に一気に溶けて水として流れてしまうことで、本来必要とする時期に水が不足してしまうリスクが年々高くなっている。

厚生労働省によれば、1人当たり1日約300Lの水が使われているという。SDGsの目標13に“気候変動に具体的な対策を”が掲げられているが、日々の節水を心掛ける機会にするだけでなく、「アクアポニックス」循環型農業のようにビジネスを通じて課題解決、社会貢献できる機会を創出できるよう、日々努力をしていきたい。

新光和株式会社
今井 利明

グループ社員による今月のつぶやき

SANSHINEast

先日、台風7号の影響により東海道新幹線が不通となりました。私は運悪くその影響を受けた一人となりますが...。今回は静岡県の降水が影響しての運休でした。他の地域では雨の影響はなかったわけですが、サプライチェーンでは一か所でも滞ると全体がストップします。通常業務においては第二、第三の手段を持つておくことが非常に重要と感じた事象でもありました。(Y.Y.)

SANSHIN Hong Kong

Bringing your own containers for takeaway, reduce plastic waste. Also, WWF-HK has partnered with an online food delivery platform to launch the scheme for the recycling of reusable lunch boxes, this reusable lunch boxes is provided and citizens can return the lunch boxes to designated recycling points. But the most important is we need to think how to reduce this kinds of plastic waste. (V.K.)

CSI

日本の豆腐。フィリピンでは「TAHOタホ」。朝、タホ売りのおじさんが「タホーッ、タホーッ」と言いながら歩いて売っています。タピオカを乗せて黒蜜をかけて食べます。私もよく食べます。日本では「飲む豆乳プリンTAHO」の名前でコンビニで売っている様です。こちらは食べた事ありません。タホの起源を調べると中国の豆花（トウフア）との事でした。(K.S.)

SANSHINWest

今年は例年より台風発生数がやや多く、エルニーニョ現象により海面水温が高い海域を通る時間が長くなるため、勢力の強い台風が多くなると予想されています。また地球温暖化の影響で線状降水帯の発生も増えています。豪雨による洪水、土砂災害等いつ起こるか分からない災害への備え、日ごろからしっかり対策しておきましょう。(F.H.)

SHINKOWA

まだまだ、暑い日が続いておりますが、体調管理をしっかりと、また、新型コロナウイルスが再度感染者が増えてきていますので、暑さ対策は食事・睡眠をしっかりと取り、新型コロナウイルス対策は個人個人の考えもありますが、手洗い・うがい（マスク使用）三密の回避を実施しましょう。まだ油断してはならないですね。(M.N.)

SC2

【900種類】何の数だと思いませんか？こちらは市販の合成洗剤と柔軟剤で洗濯した衣類に付着している化学物質の数です。現在、早稲田大学・大河内研究室で全ての種類を特定中。果てもなく思える数の中には、EUで規制されている有害物質も含まれると予想されます。発表が待たれます。(M.I.)

ESG Report (品質)

サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

品質への取り組み

要因分析

<品質管理の基本である5M>
Material (材料)、Machine (製造機械)、Method (製造方法)、
Man (担当者)、Measurement (計測)

段取り

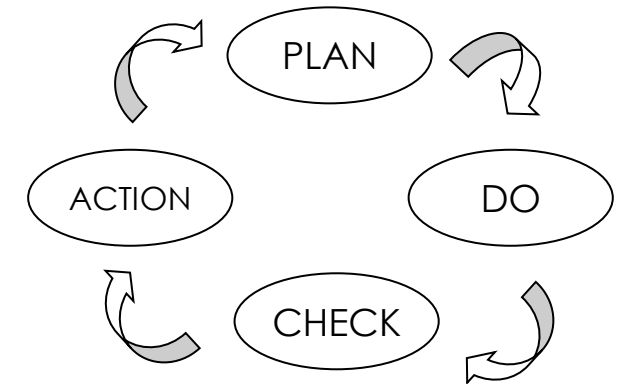
<仕事の段取り5W3H>
5W : When (いつ)、Where (どこで)、Who (だれが)、What (なにを)、Why (なぜ)
3H : How (どのように)、How much (いくら)、How many (どのくらい)

行動

<製造の基本である3現主義>
現場、現実、現物

管理

<品質管理の基本はロット管理と変更管理>



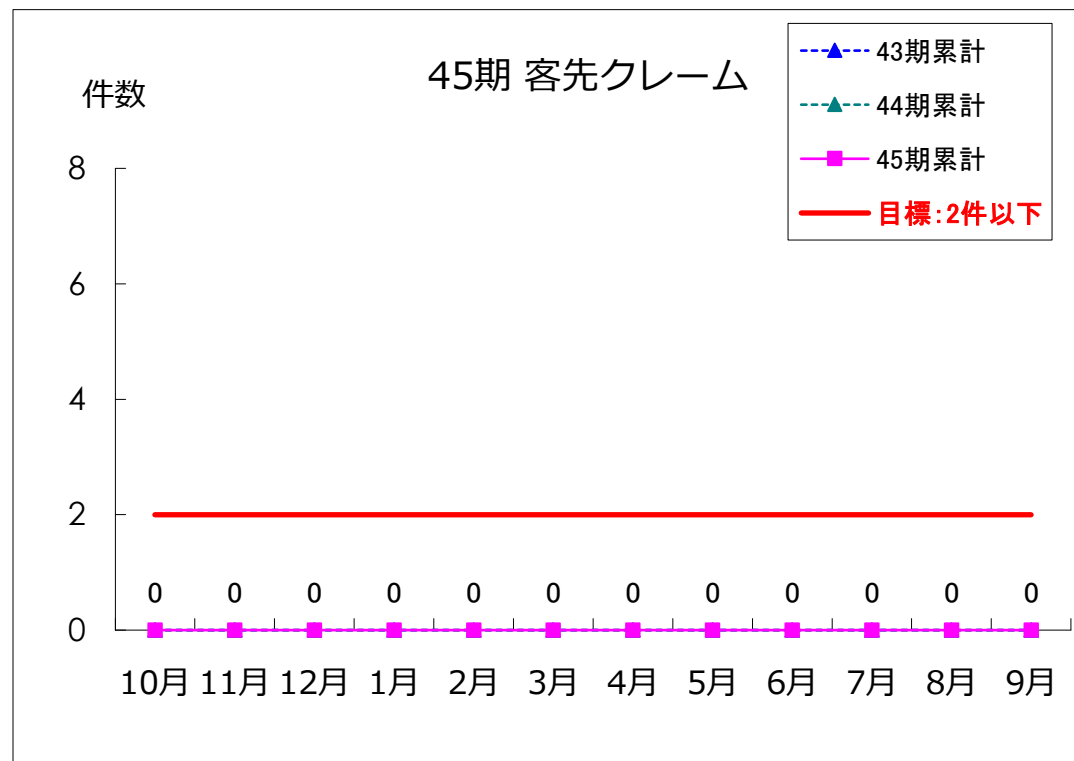
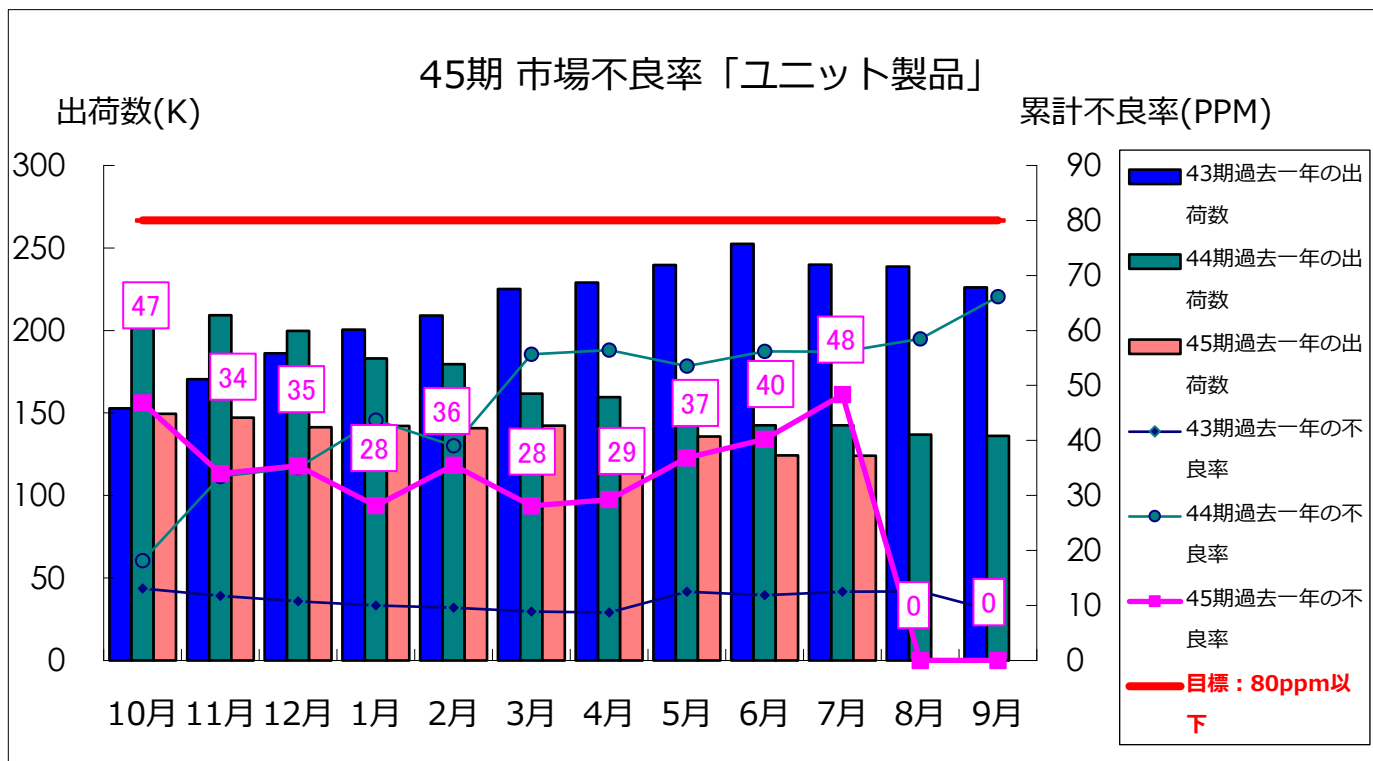
- EMS先との継続的な品質会議の実施。(1回/月)
- 定期監査の実施。(1回/1年)

* 最も大事なのが、継続させるための「**個人の意志**」である。

品質状況

納入品不良率 (目標 : 80ppm)
 45期の累計不良率(解析依頼含む) : 48ppm

客先クレーム (目標 : 2件以下) : 0 件



ESG Report (環境)

今月のTOPICS

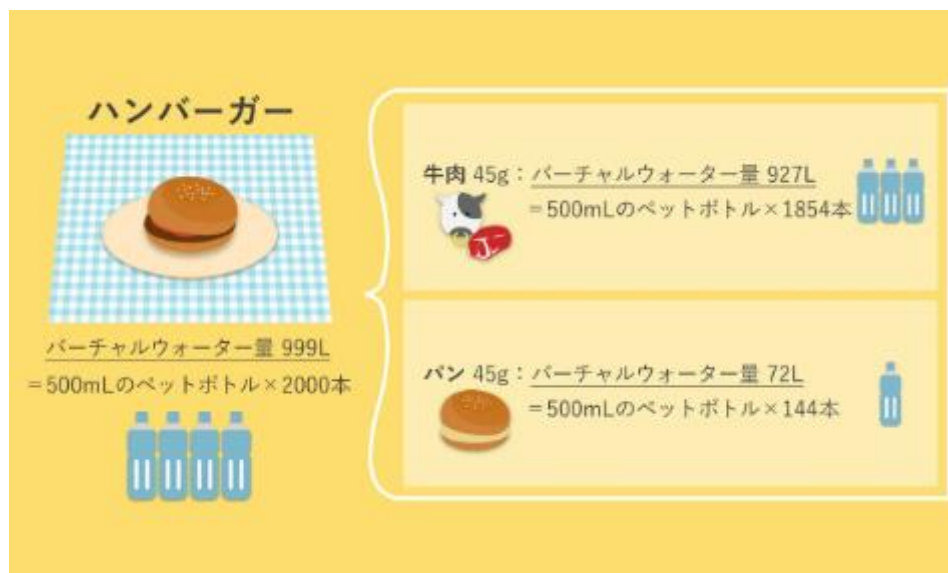
■ バーチャルウォーターとは？ 食料と水の関係について

食料を生産するためには、多量の水が必要です。食料自給率が低く、必要な食料の多くを輸入に頼っている日本は、同時に多くの水も輸入していることとなります。もし自国で同じ量を生産するなら、どれぐらいの水が必要になるのでしょうか。

☑ 1個のハンバーガーに使う水の量は？

「バーチャルウォーター」とは、食料を輸入した国が自分の国でその食料を生産した場合、どのぐらいの水が必要になるかを推定した数字です。ロンドン大学のアンソニー・アラン名誉教授が1990年代に提唱しました。「仮想水」とも呼ばれます。一般的に、穀物と畜産物では、バーチャルウォーターは畜産物のほうが多くなります。たとえば、1kgのトウモロコシを生産するには、1800Lの水が必要です。牛はトウモロコシなどの穀物を大量に食べて育つため、牛が飲む水に加えて穀物の栽培に使われる水も必要となるため、牛肉を生産するにはその2万倍もの水が必要となります。日ごろ、口にしている料理には、どのぐらいの水が投入されているのでしょうか。環境省のホームページにあるバーチャルウォーター量自動計算を使うと、料理に使われているバーチャルウォーターを算出することができます。

今月のTOPICS



環境省HPより

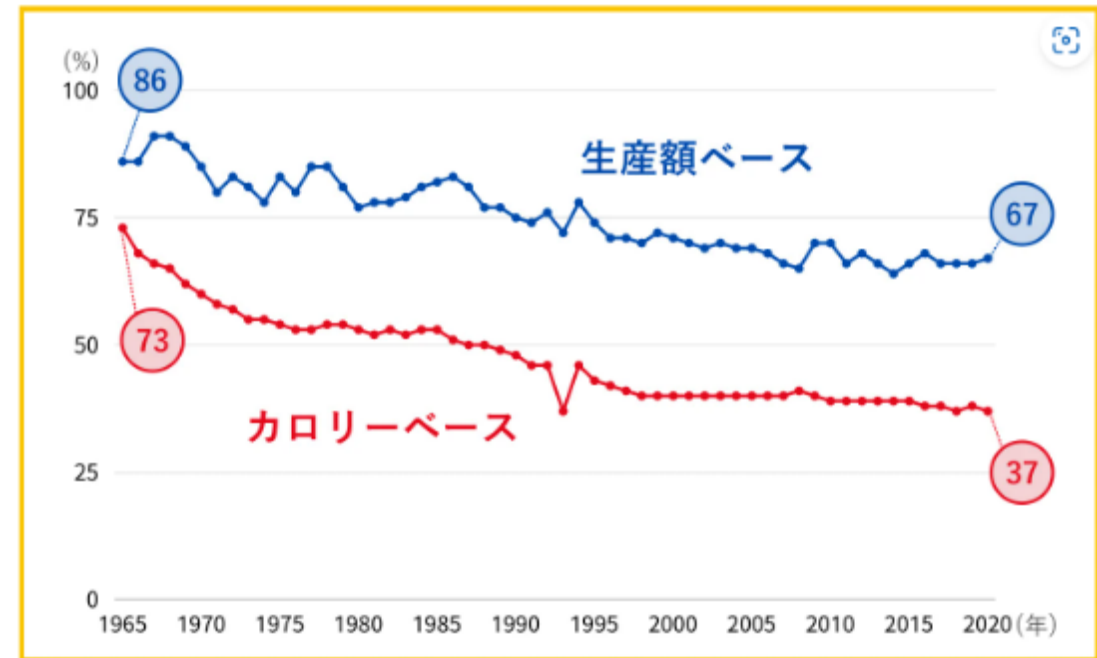
牛肉45g=バーチャルウォーター量927L
パン45g=バーチャルウォーター量72L
合計は999Lです。

この量は、ペットボトル（500mL）だと、およそ2000本分になります。一般的なお風呂の平均的な湯量は200Lなので、ハンバーガー1個分を生産するためにはお風呂約5杯分のバーチャルウォーターが必要だということになります。
ランチの定番、しょうが焼き定食だと、総量は1271L、ペットボトル2542本分になります。

今月のTOPICS

☑ 世界有数の「水」輸入国ニッポン

日本の食料自給率は、カロリーベースで37%（2020年度）しかなく、先進国で最低の水準です。食料や家畜のえさの多くを輸入に頼っているため、輸入するバーチャルウォーターも多くなります。東京大学生産技術研究所の試算によると、バーチャルウォーターの年間総輸入量は640億m³にのぼります。国内で1年間に使用する水の量は約800億m³ですから、その8割に相当する量です。1年間に世界平均の2倍もの雨が降る日本は、水に恵まれた国と思われがちですが、山が多く、河川の水は利用されないまま海へと流れ出てしまいます。実際に利用できる水の量は少なく、1人あたりの水資源の量は世界平均の半分以下に過ぎません。それにもかかわらず、日本で「水不足」を感じないのは、大量のバーチャルウォーターを輸入しているからなのです。



今月のTOPICS

☑ 人口増加で深刻化する世界の水不足

今、世界各地で水不足が深刻になっています。理由の一つが人口の増加です。1960年に約30億人だった地球の人口は、2011年に70億人を超え、2050年には97億人に達すると推計されています。人口が増えたことにより、飲み水だけでなく、農業や工業に利用する水も増えました。また、新興国や途上国で、経済成長によって所得が増えたことにより、「肉食」が広がったことが水不足に拍車をかけます。2009年から2019年にかけて、肉の生産量は19%増え、3.37億tに達しました。同じ時期の世界の人口の伸び率が12%なので、人口の増加に加えて、1人あたりの肉の消費量が増えていることとなります。

さらに地球温暖化によって、干ばつも増え、水資源がなくなる危険性が高まっています。国連の気候変動に関する政府間パネル（IPCC）が2022年2月28日に公表した報告書によれば、産業革命前に比べて平均気温の上昇幅が1.5度を超えると、世界各地で穀物が一斉に不作になると予想されています。水不足は、食料不足に直結することとなります。

「世界の水の危機」は対岸の火事などではなく、むしろ食料自給率が低い日本のような国こそが追い詰められることとなります。食料とともにバーチャルウォーターを大量に輸入している国として、きれいな水を作ることに協力し、バーチャルウォーターを途上国に還元することが求められています。地産地消を進め、食料自給率を上げることや、食べずに捨てられてしまう食品ロスをなくすことも水資源を守ることにつながるでしょう。

「水の惑星」といわれる地球ですが、人間が利用できる状態の真水は0.01%しかありません。20世紀は石油をめぐる戦争が起きた世紀と言われています。21世紀に「水戦争」を引き起こさないため、限りある水資源を守り、分け合うために協力することが世界の課題となっています。

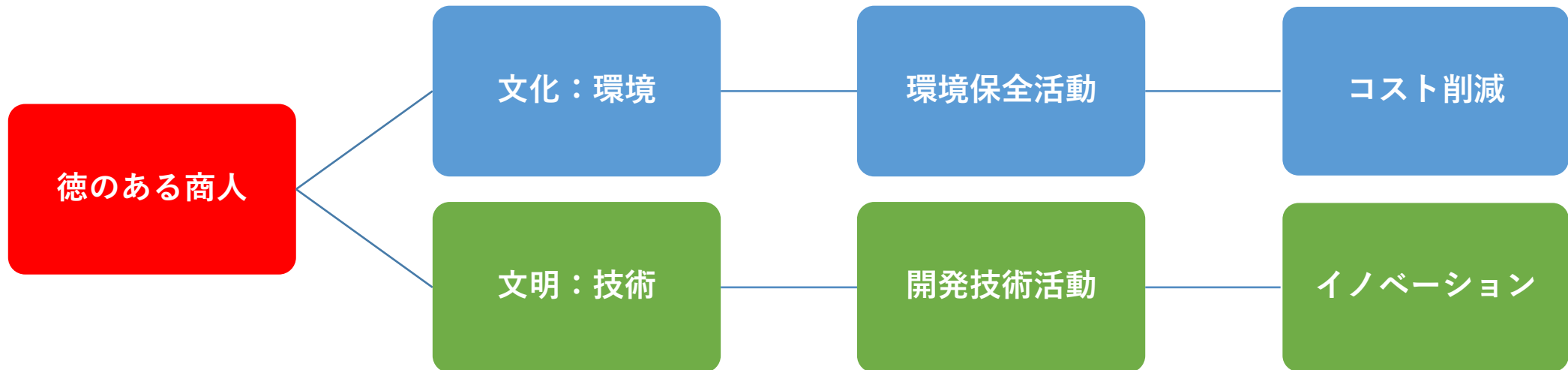
サンシングループ環境経営への歩み

1. 環境経営の基本マインド

* サンシングループ経営理念

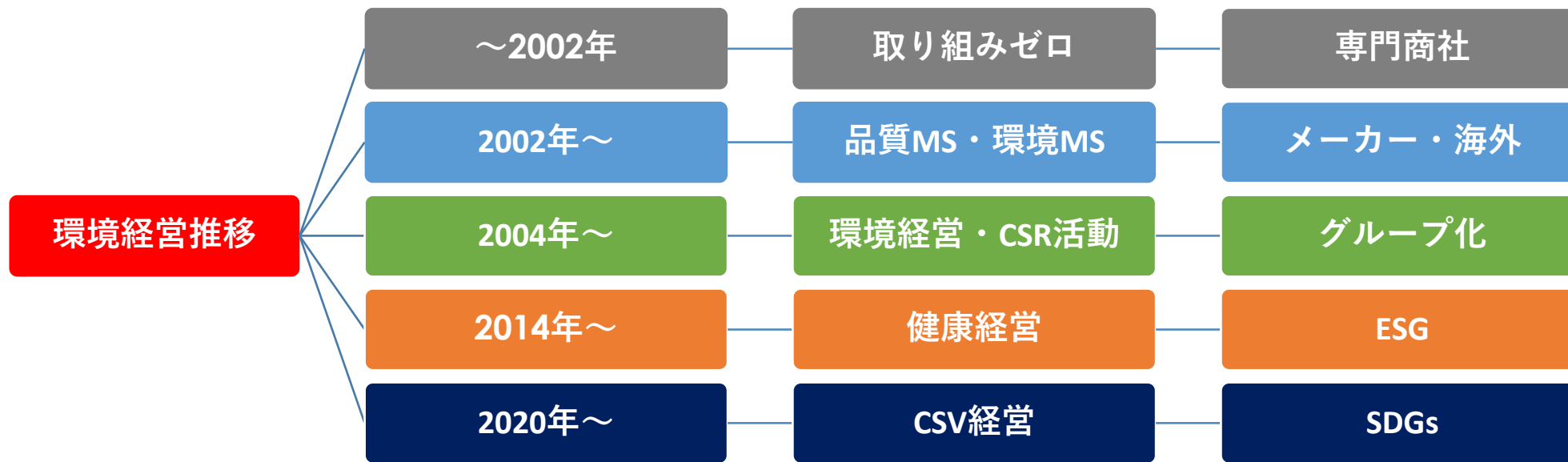
私たちは お客様を愛し お客様から愛される

徳のある商人を目指す：世界の**文化・文明**発展のために



2. 環境への取り組み

2002年から現在までの経緯



2. 環境への取り組み

～2002年

環境対応はコスト増の要因であり取り組む必要はないという認識。

2002年～

専門商社から海外商社，メーカーへと展開するなかで**環境MSを整備**。

2004年～

グループ企業体の発足に伴い**経営理念**を創設。 **CSRを能動的に展開**。

2014年～

健康経営を標ぼう，以後，東京都認定。

2020年～

CSV経営を宣言， **ESGとSDGs**を重視。

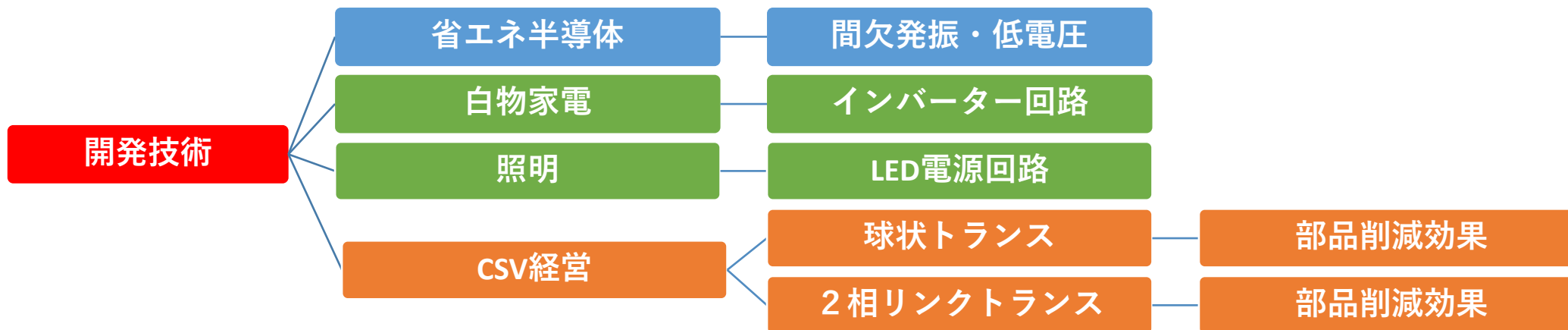
3. コスト削減実績

- **紙/ゴミ/電気**，三種の神器，徹底削減の継続
 - **テレワーク**による電気/交通費削減
 - 環境MS監査費用は増加（リアルコスト）
 - 環境活動時間は増加（バーチャルコスト）
 - コスト削減費用と増加費用の差額をマネジメント
- ⇒ **グループで年間約4,000万円※のコスト削減を実現！**

※2004年度対比

4. イノベーション事例

- ・ 環境保全の開発技術ビジネス



4. イノベーション事例

省エネ半導体

専門商社として拡販

白物家電

白物家電向け**インバーター回路**の設計

照明

LED照明用の回路設計および電源製造

CSV経営

環境保全を鑑みた電子部品を**自主開発**

環境とイノベーションを結び付けた技術開発

CSV経営 モノ×コト = 価値創造

5. Scopeの対応

- Scope 1：該当なし
- Scope 2：電気排出量のみ（J/C/P合計）
『ESGレポート』掲載
- Scope 3：該当事項のみ集計
 - 4：輸送配送
 - 5：廃棄物
 - 6：出張交通費（旅費除く）
 - 7：従業員交通費

6. まとめ

- ほとんどのSME他社が取り組んでいない項目だからこそ「進取の精神」で取り組みます！
- 事業活動の中で可能な小さいことからコツコツ継続します！
- 環境保全活動はコスト削減とイノベーションのきっかけになります！
- サンシングループはこれからもサステイナブル企業としてサステイナブルな社会のために環境保全活動に取り組みます！



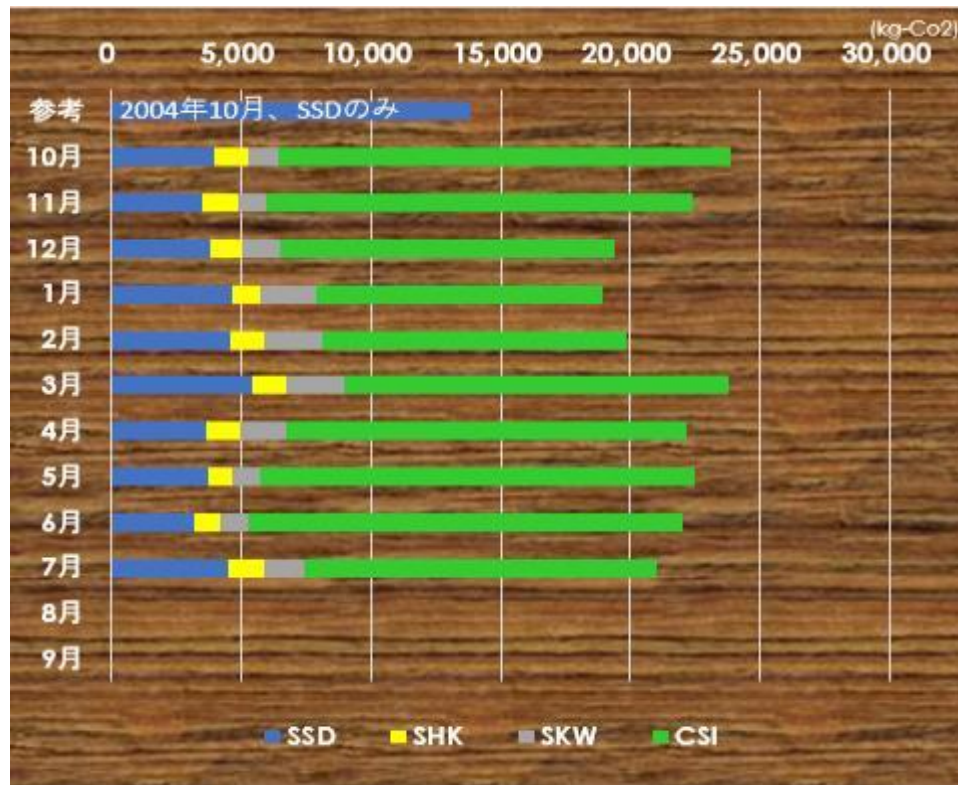
活動報告

- ① サプライチェーン排出量
- ② 廃棄物排出量
- ③ 電力使用量

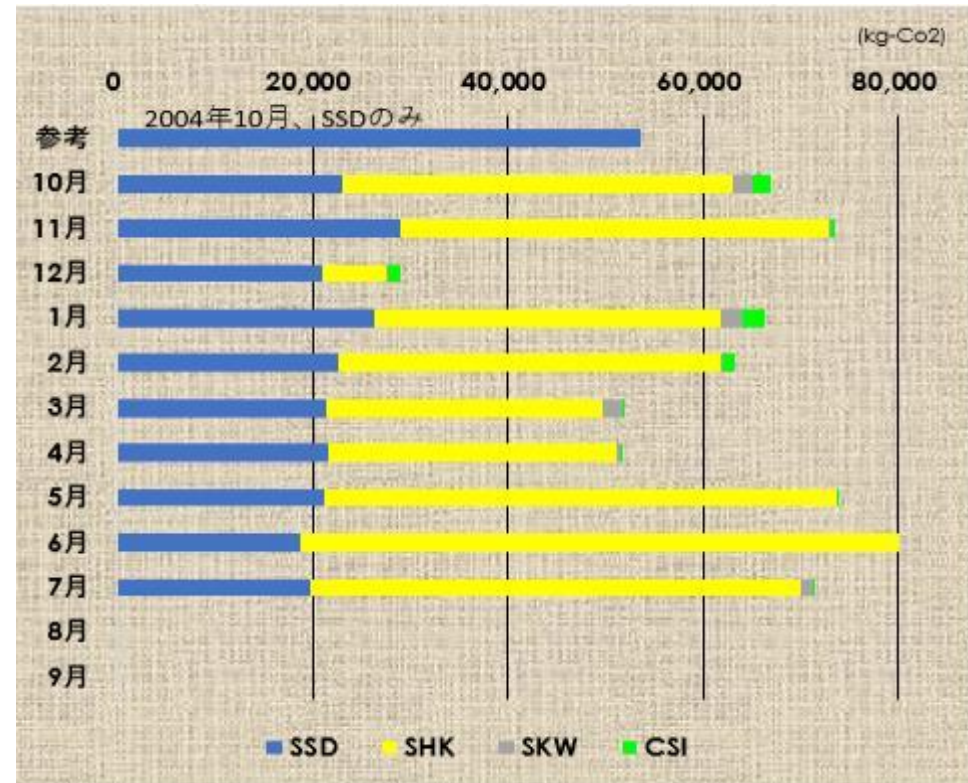
SSGサプライチェーン排出量

サンシングループではサプライチェーン排出量前年比▲5%に取り組んでいます

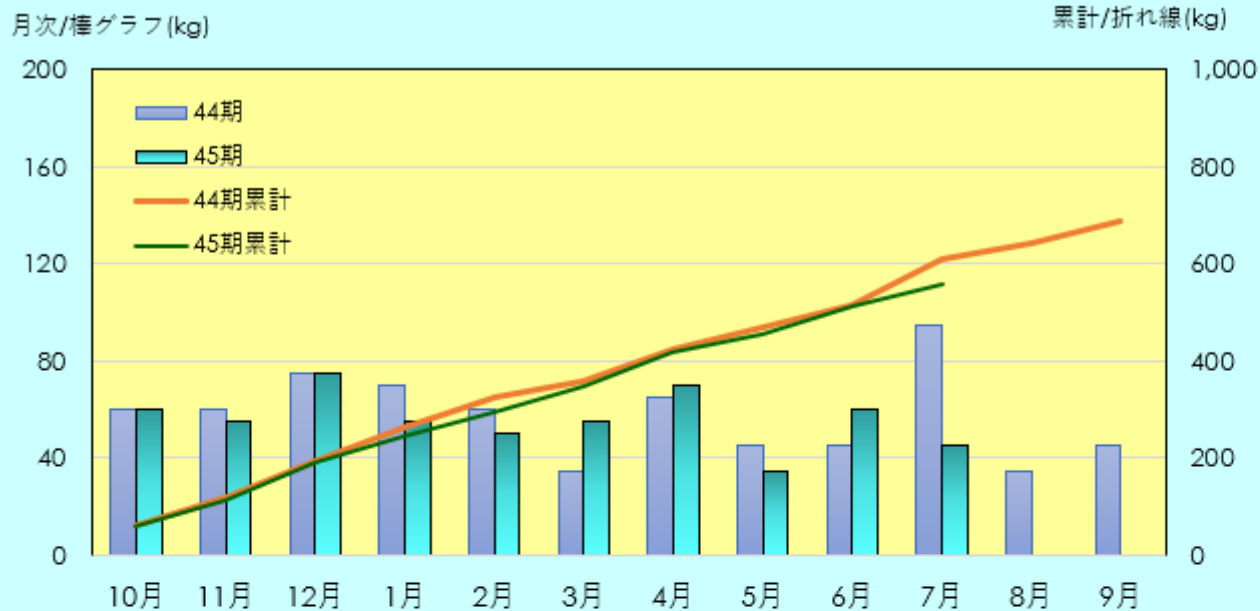
- Scope 1：該当なし
- Scope 2（他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出）



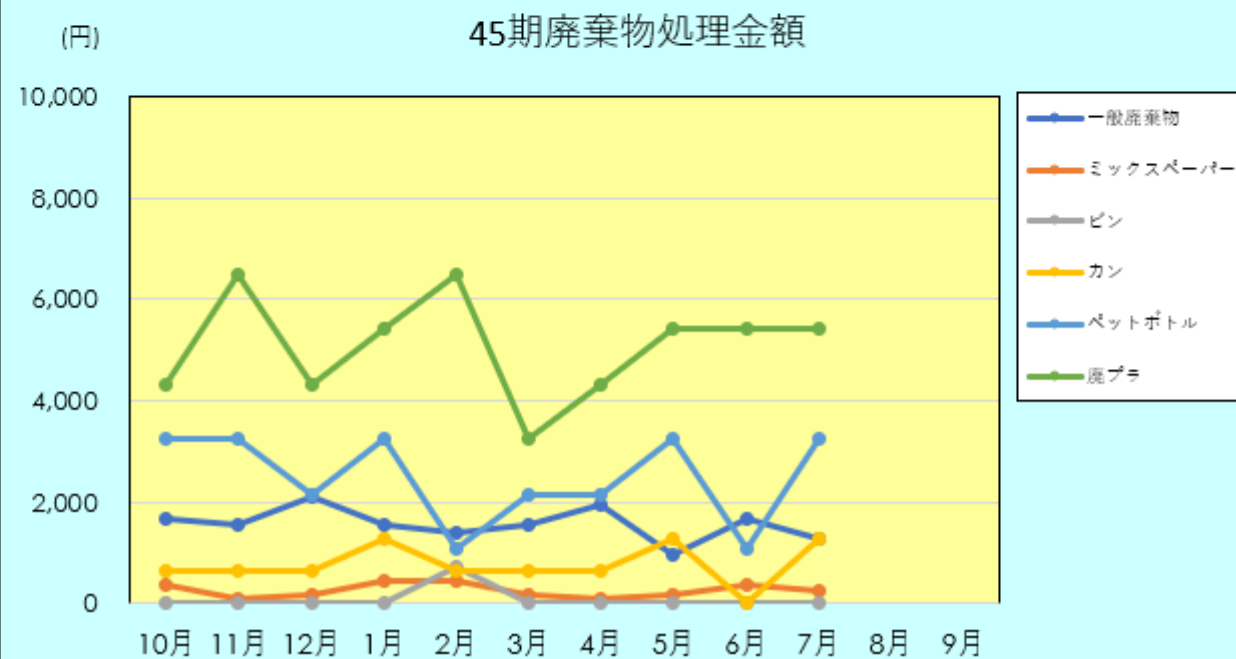
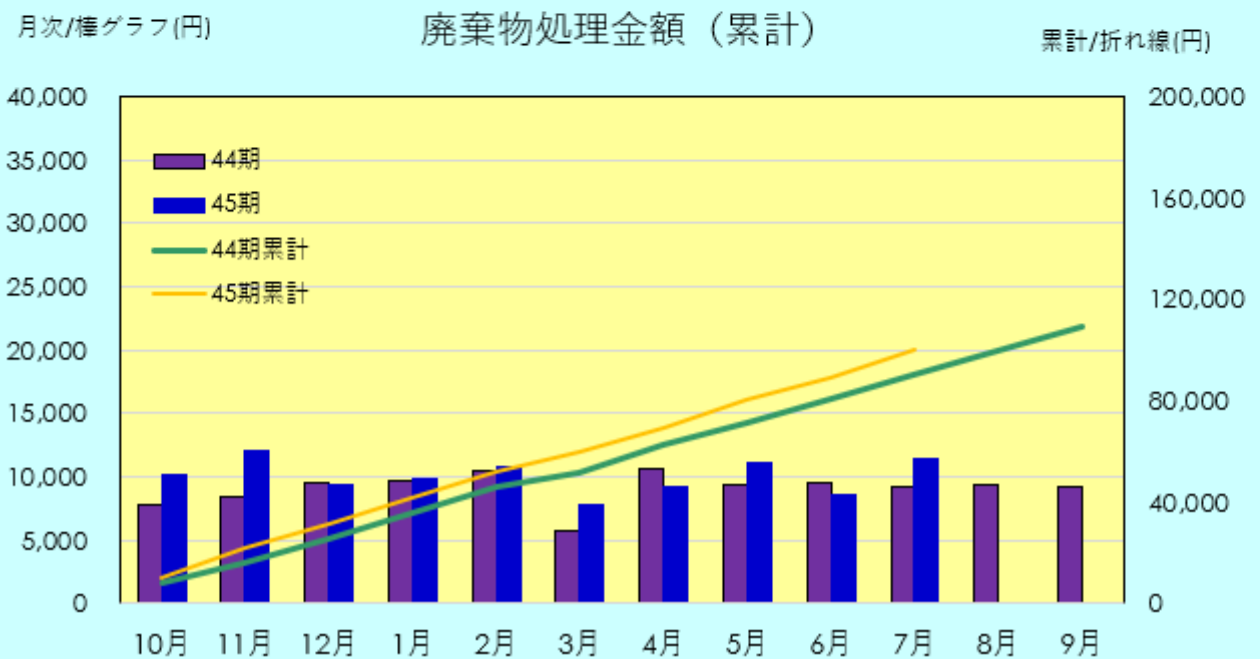
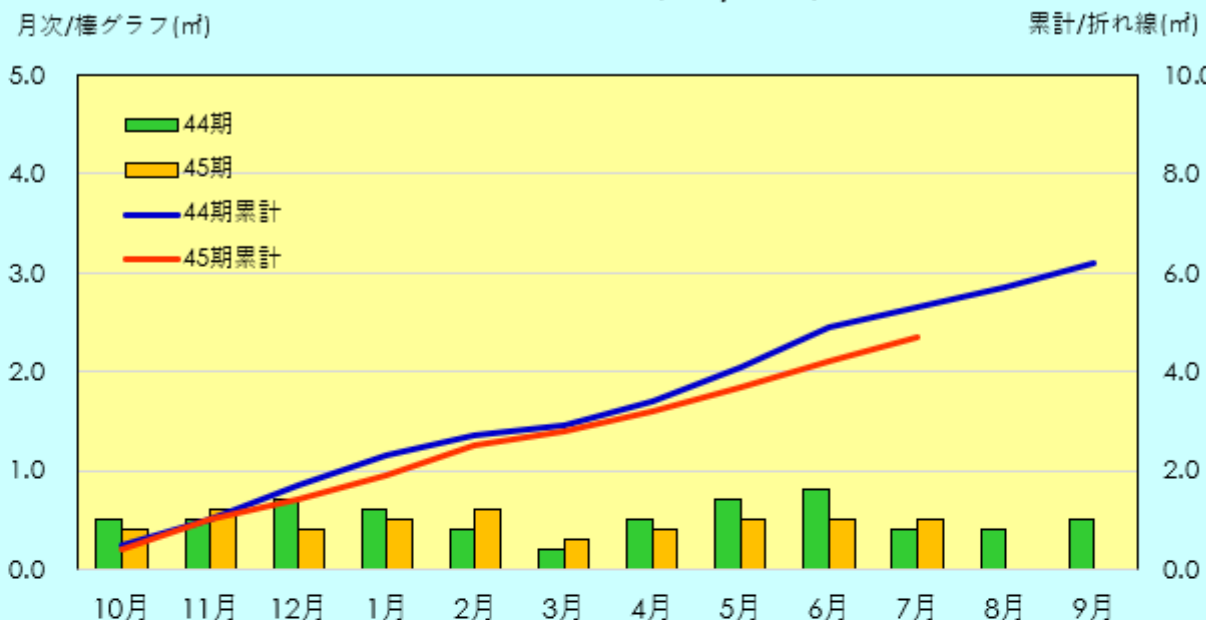
- Scope 3（事業者の活動に関連する他社の排出）



一般廃棄物 (SSD/本社)



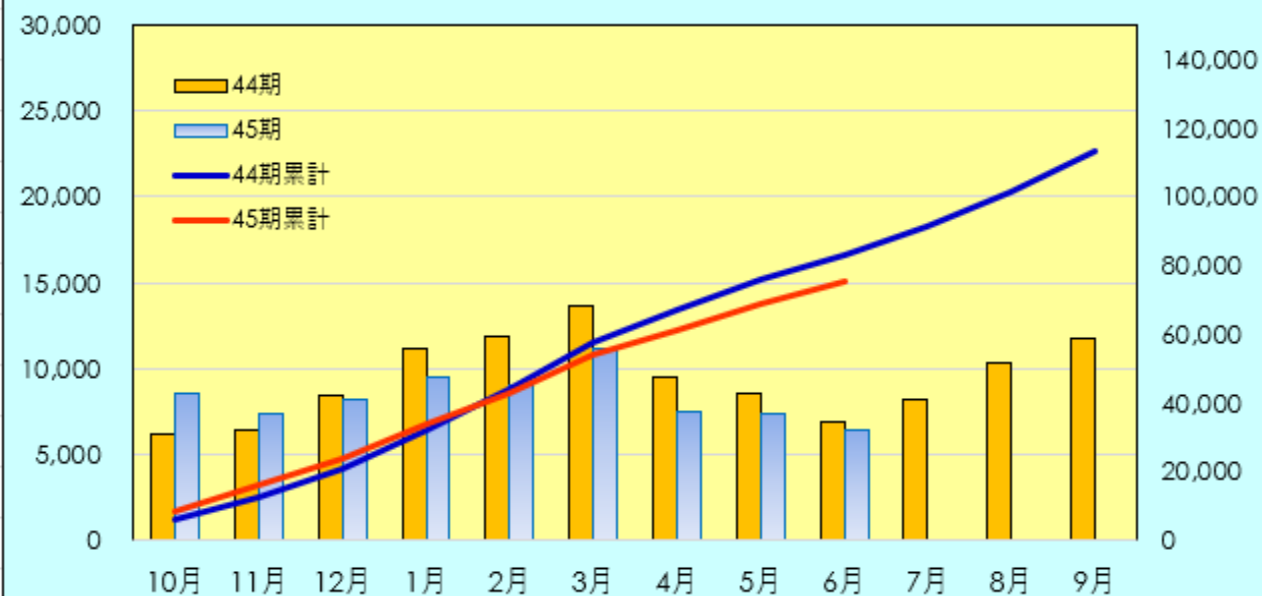
一般産業廃棄物 (SSD/本社)



電力使用量 (SSD/本社)

月次/棒グラフ (kwh)

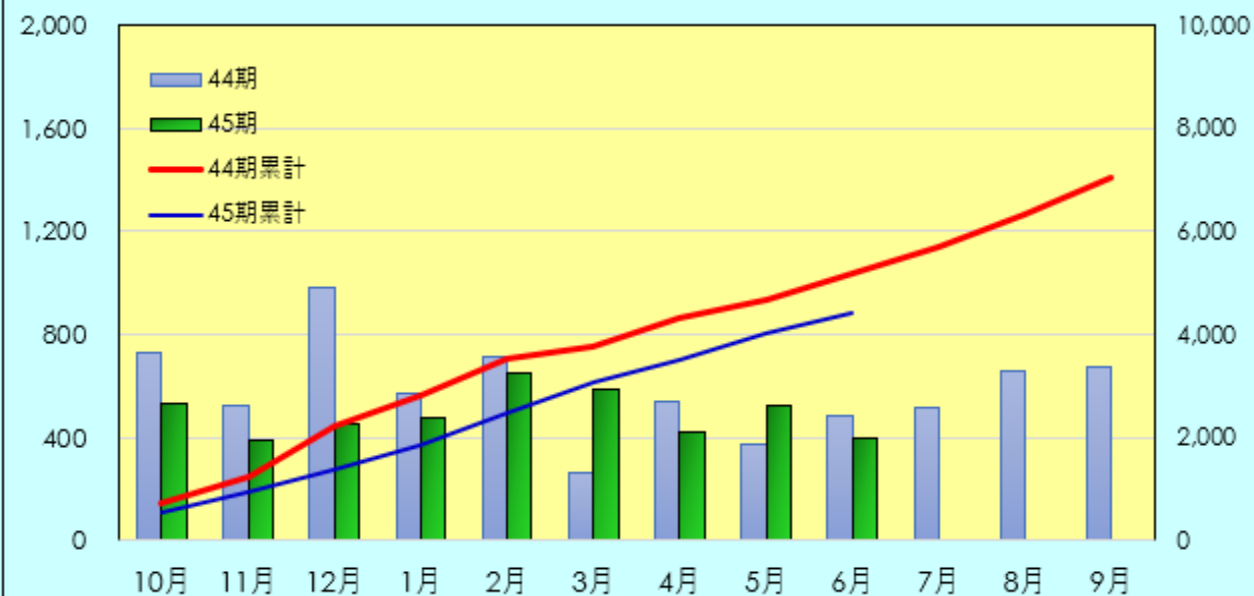
累計/棒折れ線 (kwh)



電力使用量 (SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ (kwh)

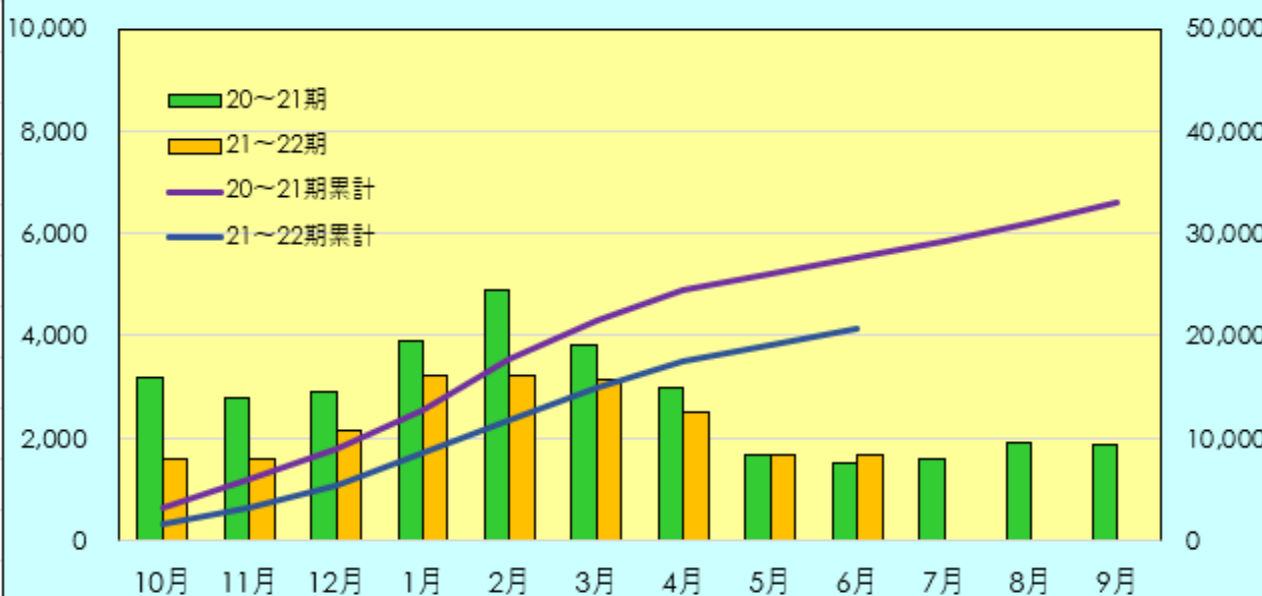
累計/棒折れ線 (kwh)



電力使用量 (SKW/朝日工場)

月次/棒グラフ (kwh)

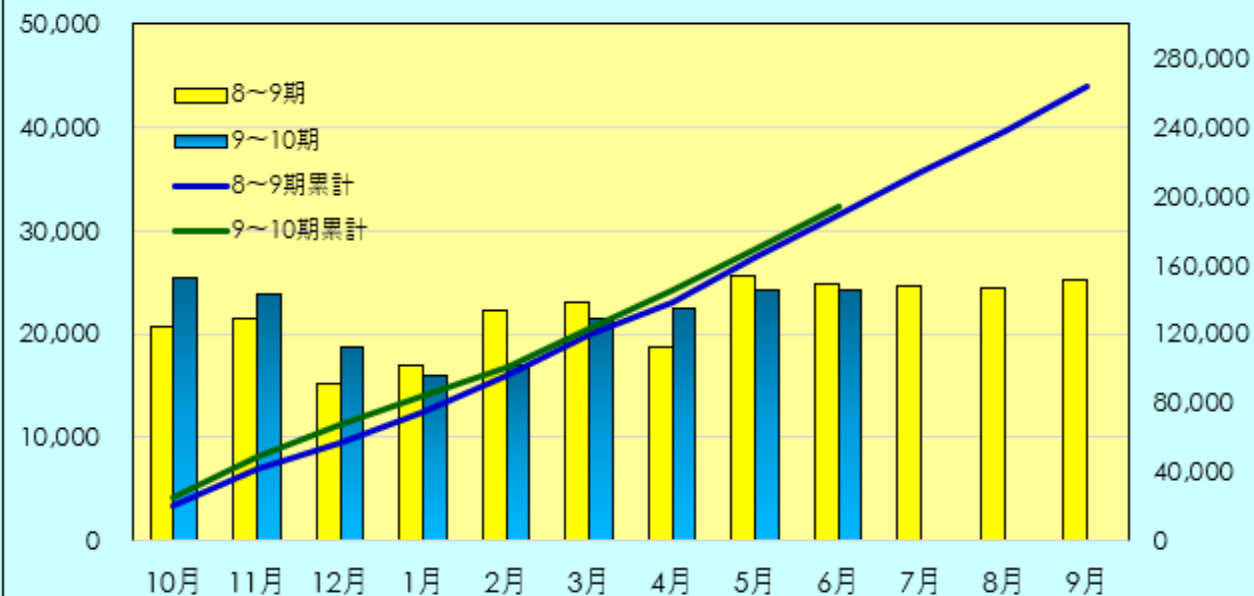
累計/棒折れ線 (kwh)



電力使用量 (CSI)

月次/棒グラフ (kwh)

累計/棒折れ線 (kwh)



ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

今月のTOPICS

●一般社団法人ICTマネジメント研究会 第四回学生小論文アワード授賞式を執り行いました！

一般社団法人ICTマネジメント研究会が主催する学生小論文アワードの授賞式を8月4日にオンラインにて執り行いました。

今回は「社会問題の解決とICTの役割」をテーマに小論文もしくはエッセイ形式で募集し、高校生8名、大学生7名からの応募がありました。

オンライン授賞式では、審査員の先生方から講評や祝福の言葉が贈られました。優秀賞受賞者には楯・表彰状・商品券が贈られます。

サンシングループではICTマネジメント研究会を通じて、これからもCSR活動を積極的に展開してまいります。



活動報告

- ①地域貢献活動
- ②ワーク・ライフ・バランスへの取り組み
- ③人財育成への取り組み

地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（7月参加人数：延べ4名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、中国、マレーシア）
- 近隣の小中学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入（ミタスライフ）
- 飼い主のプロを育てる「ドッグライフアカデミー」を創設（ミタスライフ）

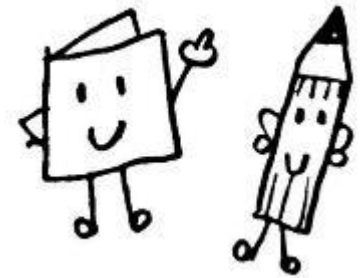


ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

- 育児休業中も休業前のほぼ半額の給与支給。行政と併せてほぼ全額受給可能（累計実績5名）
- 育児短時間勤務中も、通常と同額の給与支給（累計実績6名）
- こども手当の支給（中学生未満）
- ご家族の急な病気やご家庭の事情、社会情勢に合わせて、在宅勤務又はテレワークが可能
- リフレッシュ勤務制度（勤務間インターバル制度）の導入
- 時間単位の有給休暇取得制度の導入
- 年2回実施の人事考課にて、ご両親または20歳以下の子供を扶養している社員への加点実施
- 勤続表彰者への特別休暇の付与及び記念品を贈呈
- 毎年1回、全社員対象に健康診断を会社負担で実施
- 東京都の「感染症対応力向上PJT」に参加し、コースⅠ（感染症理解のための従業者研修）達成（2016年1月）、コースⅡ（感染症BCPの策定）達成（2017年12月）⇒2020年8月「感染症BCP」を新型コロナウイルス感染予防対策も含め更新！
- 全国健康保険協会東京支部より「健康優良企業・銀の認定証」取得（2022年5月更新）⇒6年連続！
- 経済産業省・日本健康会議より「健康経営優良法人2021（中小規模法人部門）」の認定取得（2017年～2021年）
- 東京都より「スポーツ推進企業」、スポーツ庁より「スポーツエールカンパニー」の認定4年連続取得（2017年～2020年）
- メンタルヘルスケアの一環として従業員用オンライン相談フォームを設置（海外拠点からも投稿可能、匿名でも投稿可能、秘密厳守）

人財育成への取り組み

- ▶ 社内にサンシン大学（SSU）を設置。経営・法務・税務・情報セキュリティ・新製品紹介・ビジネス英会話・健康促進法・eラーニング等の講義を開講（World-wideでSkype配信実施。就業時間内に開講。会社が費用負担）
- ▶ サンシングループ石井代表と選抜メンバーによる「CSV研究会」を開催中
- ▶ サンシン大学への出席実績は、年2回の人事考課で加点対象
- ▶ 自己啓発支援制度により、MBA取得や資格取得を積極的に支援（毎年3～4名利用）
- ▶ 簿記、ビジネス実務法務検定、TOEIC・英検の取得により職能給UP
- ▶ 他社での技術研修、経理実務研修等を実施
- ▶ 年に1度、好業績を残した社員に対して社員表彰を実施
- ▶ “情報共有システム（Intelligence Shared Systems）”の活用により、日々PDCAP’を全社で共有し、TOP MANAGEMENTとの直接のコミュニケーションが可能
- ▶ 一般社団法人ICTマネジメント研究会による「学生懸賞論文」の実施（毎年開催）



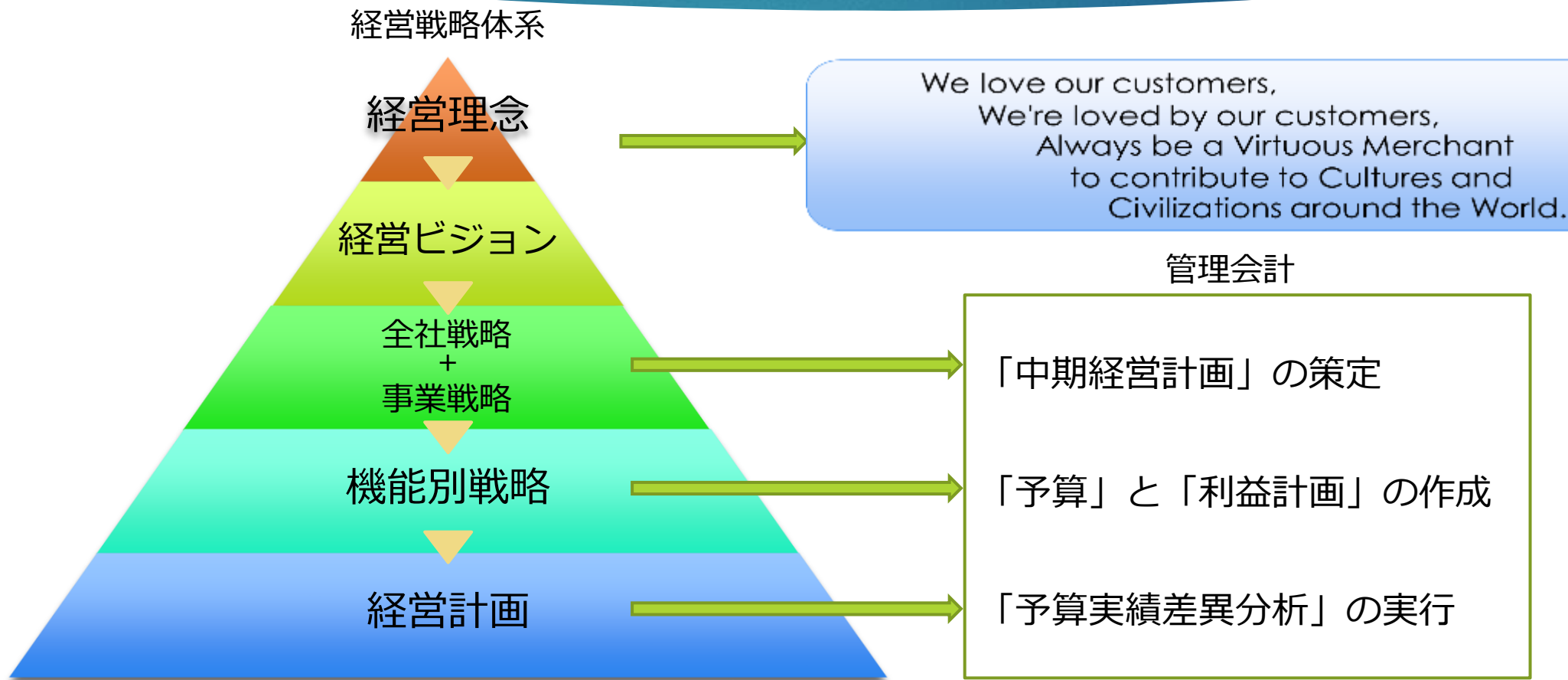
サンシングループの経営理念とCSR

We love our customers,
We're loved by our customers,
Always be a Virtuous Merchant
to contribute to Cultures and
Civilizations around the World.

サンシングループのCSRは、経営理念を全役員・全従業員が共有し、100%のコンプライアンスを大前提として、企業活動の中で経営理念を実践していくことです。

コンプライアンスの基礎となる品質マネジメント・マニュアル及び環境マネジメント・マニュアルを策定・導入し、サステナブルな企業として永続的に電機業界及び社会の発展に貢献して参ります。また、ステイクホルダーとの信頼関係の構築を通して、社会の公器として企業の社会的責任（CSR）を果たして参ります。

経営戦略体系と管理会計のかかわり



サンシングループの社会的責任

サンシングループは、企業はステイクホルダーをはじめとする社会全体と共存して繁栄し、社会的責務を伴う存在であると考え、以下の取組みを実施しています。

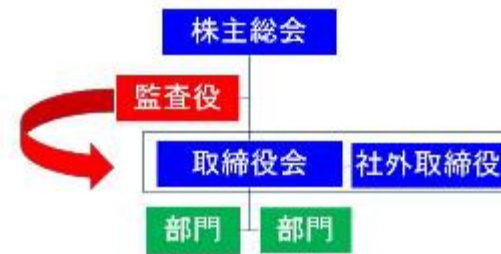
■ コーポレートガバナンス

経営者がコンプライアンスに準じた行動をしているか、コーポレートガバナンスにより、内部の業務監査を行っています。

■ CSR及び環境経営（ESG）

サンシングループではCSRに環境経営、品質保証、危機管理などの要素を含め、ホームページで活動内容を発信しています。特に環境経営はISOなどの環境マネジメントシステム（EMS）と連携した活動を実施しています。

コーポレートガバナンスと機関の役割



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、13ページ。

CSRの基本的要素



CSRの新たな要素



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、14-16ページ。

サンシングループの企業行動基準

サンシングループの倫理法令遵守企業行動基準は、「経営理念」を実践するために、企業倫理とコンプライアンスの観点から、基本的な姿勢を以下の通り定めています。

1. 私たちは、常に社会人としての自覚を持ち、高い倫理観に基づき、社会的良識に従って行動します。
2. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、関係法令および社内規定はもとより、利害関係者と取り交わした契約や約束を常に遵守し、全ての企業活動が正常な商慣習と企業倫理に適合したものになるよう努めます。
3. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、全ての人の基本的人権と個性を尊重し、オープンなコミュニケーションに努めます。
4. 私たちは、全ての利害関係者に対し、誠実に接するとともに、公平・公正かつ透明な関係を維持し、フェアな取引を行います。
5. 私たちは、会社の正当な利益に反する行為や会社の信用・名誉を損ねる行為を一切行いません。

サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループは、経営戦略達成のため、「アカウントティング・システム（財務的：定量的管理）」と「コントロール・システム（非財務的：定性的管理）」という2つのシステムから成るマネジメント・コントロール・システムズを導入しています。

このマネジメント・コントロール・システムズの「コントロール・システム」の基軸となるものとして、当グループ独自の品質マネジメント・マニュアルがあります。この品質マネジメント・マニュアルに基づき、ISO9000シリーズに準拠した品質方針、および環境マネジメント・マニュアルに基づき、ISO14001やエコステージなどの環境方針を策定しています。これらの方針に従い、コンプライアンス・品質・環境・地域貢献・人財育成等のCSR活動に努めています。



サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループでは、形式知化された業務をルール化し、業務フローと業務マニュアルを策定しています。

■ マネジメント・システム

マネジメント・システムにより業務を標準化し、企業活動に安定した品質をもたらしています。

■ 5W2HとPDCA→P' サイクル

PDCA→P' サイクルは計画策定のPlan、計画を実行するDo、計画と実行の差異を評価するCheck、評価から修正と改善を行い次のPlan(P')につなげるActionから構成されます。サンシングループでは情報共有システムなどを活用して、5W2Hを明示し、プロセスの進捗を可視化/共有しています。

マネジメントシステムの基本構成

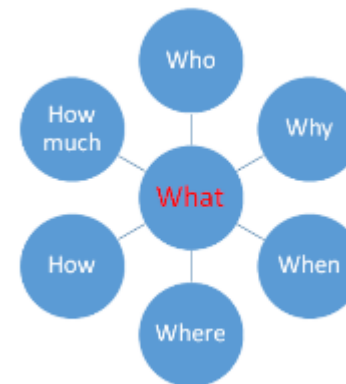


マネジメントシステムのレビュー



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、48ページ。

ビジネスの5W2H



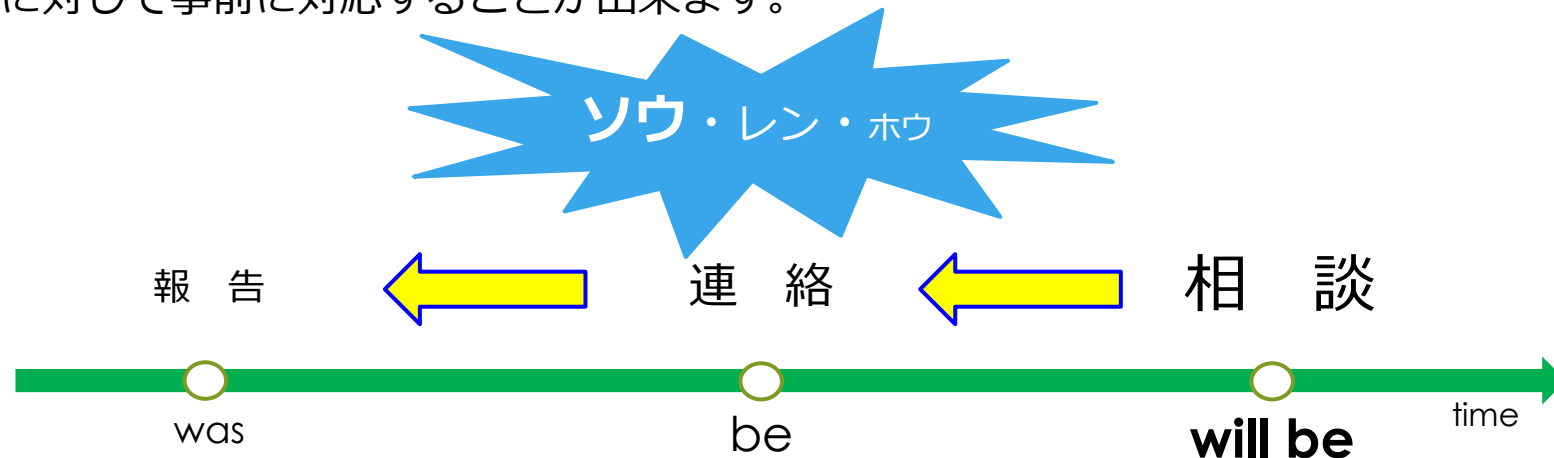
PDCA→P' サイクルの概念



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、42ページ。

未来形から問題を解決するソウレンホウ

サンシングループでは悪い問題は過去形になる前に潰すことが重要と考え、一般的に言われるハウレンソウ（報告・連絡・相談）ではなく、ソウレンホウ（相談・連絡・報告）を励行しています。ソウレンホウにより、過去形（報告）ではなく未来形（相談）と現在形（連絡）の情報を共有し、予測される問題に対して事前に対応することが出来ます。



出所：石井 宏宗[2011]『経営とは生きること -企業家に求められる3つの視点-』税務経理協会、166ページ。



編集
後記

SSD, 営業管理課 Y.Y.

新型コロナウイルスの感染者が増加傾向にあるようです。また、新たな変異株（EG.5：エリス）も発生しています。今までの変異株と同様、重症化のリスクは高齢者や大きな基礎疾患を抱える人々が最も高いとされています。感染防止については今まで通り、手洗い・うがい・密の回避が効果があるとの事。引き続き感染対策宜しくお願い致します。